ニコルソン在沖米軍四軍調整官の発言に対する抗議決議

米軍普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22 オスプレイが12月13日午後9時54分頃、名護市安部の沿岸部で不時着したとの報道があった。機体は折れ、大破するという激しい事故であり、県民の命が奪われかねない事態であった。

マスコミ報道によると沖縄県の安慶田光男副知事は、14日に在沖米海兵隊のトップであるニコルソン四軍調整官にオスプレイの飛行停止と配備撤回を求める抗議文を手渡し、抗議したが、その席上でニコルソン氏は「パイロットは住宅、住民に被害を与えなかった。感謝されるべきだ。」と抗議に不満を示したとのことである。

沖縄県民が巻き添えになりかねなかった大事故を起こしたのにもかかわらず、抗議に訪れた安慶田副知事に対し謝罪の言葉もなく、本市議会としても看過することはできない。

よって、本市議会は、今回のニコルソン四軍調整官の発言は沖縄県民を愚弄し、到底許しがたいものであることからニコルソン四軍調整官本人、米国防長官及び駐日米国大使に対し沖縄県民への謝罪を求め、ニコルソン四軍調整官の辞任を強く要求する。

以上、決議する。

平成28年12月14日

沖縄県浦添市議会

宛先

米国防長官 駐日米国大使 在沖米軍四軍調整官